

令和6年度 第1回兵庫県のサイクルツーリズム推進に向けた 淡路地域モデルルート推進協議会 議事録

1. 日 時 令和6年11月26日(火) 14:30~16:30
2. 場 所 兵庫県洲本総合庁舎 2階 会議室
3. 出席者 別紙のとおり
4. 項 目
 - (1) 報告
 - ・ 経緯
 - ・ アワイチに関するアンケート調査結果
 - (2) 議事
 - ・ 規約の改正
 - ・ 「アワイチ推進プログラム50」の主な取組み実績
 - ・ ナショナルサイクルルート指定要件の自己評価
 - ・ 「アワイチ推進プログラム50」の改定の方向性
 - ・ 「アワイチ推進プログラム50」の改定スケジュール
 - (3) その他
 - ・ 「兵庫県自転車活用推進計画」改定(令和6年3月)
 - ・ 「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」改定(令和6年6月)

5. 議事概要

○主な意見等

【委員(交通安全)】

海側の路肩について側溝の蓋掛けや法起こしが進められてはいるが、北淡・一宮・野島あたりの山側の路肩が狭い。自転車が走れる路肩がほとんどない箇所もあり事故もあった。ガードレールが傷んでいる箇所もある。予算のつけ方は。

→【事務局】

アワイチは時計回りであり、海側の路肩拡幅を行っている。交通量の多い西浦県道について、海側の路肩1メートルを半分の区間で確保したい。一方で通学路や交通事故が起きたところなどは山側も対策する。ガードレールの件も認識しているので、予算確保につとめる。

【委員(利用者)】

「ナゾのパラダイス」周辺、水仙郷、土生、福良、かるも、阿那賀等でゴミ原因でのパンクや落車事故などがある。ボランティアでゴミ清掃を行っているが追いつかない。

→ 【事務局】

ここ数年、県外から来る人が増えて、ゴミも増えている。道路管理者としては、日々のパトロールでゴミ拾いを行っているがマナーの問題である。看板の設置を検討する。悪質な不法投棄は警察と連携して対応している。

【委員(観光)】

ナショナルサイクルルート(以下 NCR)認定の目途は立っているか。要件で×がついている項目の目途は。

→ 【事務局】

NCR の要件で安全な自転車走行環境を確保しなければならず、最低限でも矢羽根の設置が要件。(資料 13 参照)今年度、国交省と警察庁が「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を改定した。資料 14 の P48 の右図のように矢羽根を自動車が踏むことも想定してガイドラインが改定された。改定までは、危険性を県警が懸念していた。道路管理者としては県警と合意した上で行いたいのでまだ矢羽根を設置できていない。改定後、県警と県庁で協議を始めており、自転車と自動車の安全確保を目指し、NCR の要件を満たすよう調整していきたい。

【出席者(交通安全)】

資料 7 「プログラム 5 0」のうち「④モデルルートの一部を活用したロードレース等の誘致」とあるが、そういう動きが実際にあるのか。

→ 【委員(観光)】

ロードレース開催はまだ未定。

→ 【出席者(交通安全)】

ロードレースなど競技性のあるイベントを道路で行うと交通規制など一般交通に影響を及ぼすので事前に相談してほしい。ロングライドはファンライド要素が強く一般交通の中で走行しており、ある程度の規制で済んでいる。

【出席者(交通安全)】

自動車側から、自転車が多数連なっていて追い抜けない状況や、マナーの悪さ、速すぎる走行スピードなどについて意見を聞いた。また、自転車のグループ内で車間距離を詰めすぎて追突する事故も発生した。走行マナーについて警察でも周知していくので、全体でもアピールしてほしい。

→ 【事務局】

サイクリストへの注意喚起は HP やマップなどに加えていきたい。

【出席者(交通安全)】

大鳴門橋自転車道整備によって自転車がこれまで以上に多くなるが、福良方向・阿那賀方向に分かれる交差点等で交通事故も発生している。今後自転車が增えることを見据え、事前対策が必要。

→ 【事務局】

ご指摘があったT字路の交差点の課題は認識している。検討した上で相談させていただく。

【委員(交通)】

オーバーツーリズムを懸念する。また、免許返納した高齢ドライバーが増え、交通弱者となっているのでバスも回している。自動車も大型化が進んでいるが、自転車が自動車と同じくらいのスピードで狭い西浦県道などを走ると危険。

道幅が整備できたところへ呼び込むならいいが、先にサイクリストを呼び込んでしまうことへの懸念がある。

→ 【事務局】

安全確保と地域活性化の両立が必要であり、バランスを取って取り組みたい。

【委員(観光)】

既に実施されている、コンビニと連携して修理キットを置いてもらう仕組みはよいが、コンビニの方が忘れてしまっている。道具も古くなってきている。

自転車台数について、目標として数を追わないのも一つの方法。昨年度の「淡路島総合観光戦略」改定では、地域活性化つまり地域に落ちるお金を増やす、あるいはお客さんの満足度を上げるという目標設定に変更した。アワイチ一周は9割が上級者だが、アワイチだけでなく、初心者にも魅力を発信していくべき。初心者と上級者それぞれに合わせた提案をしたい。

また、予算を考えるとできることは限られているが、30～50年後も今のままの道路ではよくない。西浦県道の抜本的な道路改良など長期的な視野を踏まえた計画にしてほしい。

→ 【事務局】

コンビニへの再周知や、道具の更新にも取り組んでいきたい。

島一周だけでなく初心者ターゲットの施策にも取り組みたい。

西浦県道の長期構想についてはプログラム50で触れるかは別として、県庁と相談する。

【委員(利用者)】

サイクリスト目線だけでなく自動車目線でも考えていかなければならない。福良の私の店の前でもサイクリストの信号無視や歩行者とのトラブルがあったりする。サイクリストに向けての対応もあるが、車のドライバーに向けてサイクリストへ注意喚起している姿勢を見せることも大事だと思う。皆で考えていきたい。

【委員(利用者)】

これまでに、溝や段差を埋めてもらってかなり道が良くなった。昔から課題の多かった灘～土生の道も良くなったのでトラブルが減った。

SNS で災害復旧の状況がわかるのは助かる。アワイチに特化した情報発信が必要ではないか。道路陥没、交通事故、雨風や越波の情報など。短いスパンで発信してほしい。

→ **【事務局】**

まずはインスタを充実したい。

【事務局】

今後ともサイクルツーリズムを推進し、走行環境の整備や、自転車と自動車の相互理解の促進等に取り組むことで、自転車だけではなく歩行者や自動車にとっても安全性を向上し、地域活性化に貢献できるようバランスも考えながら取り組んでいく。